

科目名	日本語文体論					単位	2.0
担当教員	石川 洋子						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	1507

●授業のテーマ

日本語の文体について、共時的・通時的に考える。

●到達目標

近現代の作家の文章から文体について考察し、また、現代の文章に至るまでの日本語の文体の歴史についても理解する。

●学習内容(授業概要)

日本語の文体は大きく「文語体」と「口語体」とに二分される。

資料を実際に読みながら、それぞれの文体における語の使い方や表現の仕方など特徴を考察することを目的とする。また、日本語の文体の歴史についても学習する。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 文体とは
2. 福沢諭吉の文語文
3. 森鷗外のいろいろな文章
4. 森鷗外『舞姫』
5. 宮沢賢治「雨ニモマケズ」と『銀河鉄道の夜』
6. 太宰治『走れメロス』と『女生徒』
7. 三島由紀夫『潮騒』
8. 語彙による分析と現代文の分析
9. 漢文体・変体漢文体
10. 漢文直訳体（漢文訓読体）
11. 宣命体・和文体
12. 和漢混淆文体
13. 擬古文体
14. 口語体（言文一致体）
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習は、事前に配布したプリントを読み込んでおく。

事後学習は、学習した内容を自分の言葉でまとめる。

●成績評価方法・基準

レポート試験 60%、平常点 40%

●テキスト（必携）

第1回目の講義時にプリントを配布する。

●参考文献／その他  
講義時に指示する。

●履修上の注意  
毎回の授業で課題を出すので、真面目に取り組み、積極的に授業に参加すること。